

改訂の方向1 チーム学校の構築の更なる推進

チーム学校の構築に向けた取組は着実に進んでおり、指定校等を中心に学力向上などの成果も表れてきた。各学校の目標の実現、教育課題の解決に向けてチーム学校の取組は不可欠であり、実践の普及とステップアップが必要である。今後、県内全ての学校における取組の本格的な展開を図るため、チーム学校の構築の更なる推進を図る。

改訂のポイント1 小・中学校における授業改善の更なる充実

主な取組

【学力向上に向けて教員同士が学び合う仕組みの徹底】

- 一定規模の中学校での「教科のタテ持ち」の全面実施、小規模の中学校における教科間連携の取組の普及等による教員同士が学び合う仕組みの徹底
- 県内児童生徒の約半数を抱える高知市小・中・義務教育学校の学力向上の取組の推進に向けた高知市教育委員会との連携による指導体制の構築

【国語学力向上に向けた取組】

- 文章を要約するための教材（小学生用・中学生用）の提供・活用促進
- 「リーディングスキルテスト」を活用した読解力向上のための授業改善の推進
- 授業改善プランに基づく学校訪問の実施

【英語教育の推進に向けた取組】

- 基幹となる小学校への英語専科教員の配置、英語教育コア・エリアの指定等による地域全体の英語教育の強化
- 「英語力向上セミナー」（小学校英語中核教員・英語専科教員対象）、「英語ブラッシュアップ講座」（全中学校英語教員対象）等、教員の英語力向上のための研修実施
- 「小学校版高知これ単」、「中学校英語活用力テスト集」等、教材の配付・活用促進

改訂のポイント2 高等学校におけるチーム学校の構築の取組

主な取組

【基礎学力の定着・向上に向けた取組の推進】

- 各教科で育成すべき資質・能力の明確化と学習到達目標の設定（全校で設定）
- 教科会の充実、「授業づくりBasicガイドブック(高校版)」を活用した学び直しの指導力向上など、授業改善に向けた取組の徹底
- 学びなおしの科目を選択可能とするための教育課程の見直しや教科会の定例化など、カリキュラムマネジメントの強化
- 各学校における上記の取組に対し、継続して指導・助言を行う「学校支援チーム」（校長OB、指導主事）の派遣

【多様な生徒の社会的自立の支援の充実】

- 各学校の「社会的自立のための進路支援プログラム」の改善及び実践内容の充実

改訂のポイント3 教員の働き方改革に向けた取組の推進

主な取組

- 勤務時間を客観的に把握するシステムの導入による適切な勤務時間管理の推進
- スクール・サポート・スタッフの配置等による教員負担の軽減
- 専門的な知識・技能を有し、単独指導や生徒引率も可能な部活動指導員の配置

改訂の方向2 厳しい環境にある子どもたちへの支援の一層の徹底

不登校やいじめなどへの組織的な対応を徹底し、校種間の連携強化により切れ目のない支援を実現するとともに、社会的自立が困難となっている若者の学び直しの機会を充実するなど、厳しい環境に置かれている子どもたちへの支援の一層の徹底を図る。

改訂のポイント4 不登校の予防と支援に向けた体制の強化

主な取組

【抜かりのない情報共有と切れ目のない支援を実現】

- 支援の必要な児童生徒の情報を組織内で確実に共有し、早期に適切な支援につなげるための校内支援会の強化
- 個別支援シートの活用による課題のある幼児児童生徒の情報の確実な引き継ぎなど、保幼小中高の連携の強化

【教育委員会・関係機関等の学校に対する支援の強化】

- SC,SSW等が関わることにより教育支援センター等につなぐなど、学校に登校できていない児童生徒の居場所や学習機会の確保
- 心の教育センターの教育相談及び学校支援機能の強化

改訂のポイント5 いじめ防止等の総合的な取組の推進

主な取組

- 学校支援地域本部事業による地域社会全体で学校を支える仕組みづくりの推進
- 児童会・生徒会による主体的な取組の充実
- 校内支援体制充実のための学校支援
- 心の教育センターの教育相談及び学校支援機能の強化

改訂のポイント6 学び直しの機会の充実

主な取組

- 夜間中学の設置に向けた検討
- 学び直しの場としての定時制通信制高等学校の在り方検討

その他の重要事項

- よりよい教育環境を保持するため、学校施設の老朽化対策として長寿命化計画（策定中）に基づき、老朽化した学校施設を予防保全の考え方を取り入れながら、改修等を実施
- スポーツ推進計画及びスポーツ推進プロジェクト実施計画の見直し（H29年度末）に伴い、基本方向10を改訂

基本目標の達成に向けて、これまで2年間の施策の実施状況を踏まえ、大綱の取組を更に充実・強化！